ファウチ博士　ホワイト米軍に逮捕される　４月15日

４月９日　アンソニー・ファウチ博士がホワイト米軍に、隠密裏に逮捕されました。
コロナパンデミックやコロナワクチンの普及や強制接種などを計画・実行してきた中心人物です。
コロナワクチン普及や強制接種に関与した、ビルゲイツやアニータ・ダン（バイデン政権の元最高顧問）などの関係者の多くが、すでにホワイト米軍によって処刑されていますが、最大の大物のファウチ博士は逮捕を免れていました。
軍事法廷は４月18日から始まります。

この項目では、2020年アメリカ大統領選挙の不正行為の具体例なども解説してゆきます。
『バイデンは核のコードを持っていない』 という項目も掲載します。
凶暴な『アゾフ連隊』の残虐行為を告発する動画も、削除されないニコニコ動画で掲載します。

アメリカ軍特殊部隊がディープ・ステートのアンソニー・ファウチ博士を逮捕！
2022-04-11　Tanto Tempo

https://tantotempo.hatenablog.com/entry/2022/04/11/173313

４月９日、アメリカ軍特殊部隊はディープ・ステートに対する戦いで大きな勝利を収めた。
「それはディープ・ステートの首謀者でありプランデミックの設計者であるアンソニー・ファウチ博士を逮捕したことだ」とJAGの情報源はReal Raw Newsに語った。

常に大勢の武装した護衛と民間ガードマンがに護られていたファウチ
米軍の「ホワイト・ハット」部隊は、”非常に長い間”ファウチを尾行してきたが、ディープ・ステートのこの博士が彼の必然的な逮捕を遅らせるためにあらゆる手を使っていたので、しばしばその残り香を見失ったと彼は言った。
公の場にいるときはファウチは十分に保護されており、多くの場合、軍が公の場で彼をつかまえれば銃撃戦を起こすかもしれない、少なくとも1ダースの武装した武装護衛員や民間人に囲まれていた。
またファウチはイベントの行き帰りには、捕まるリスクを減らすために囮の車を使っていた。
この囮の車には、しばしばファウチによく似た者や、誰かが彼に似せて作って塗ったマネキンが乗っていたという。

とうとうチャンスがやってきた！
しかし、土曜日の午後、軍は幸運に恵まれた。
「われわれは非常に良い情報を入手した。ファウチは土曜日、たった2人の護衛をつけただけで、数ヶ月会っていない妻に会いにワシントンDCの自宅を出た。
ディープ・ステートはわれわれがファウチを捕まえるために彼女を標的にすると考えたので、彼らを引き離していたのだ。
われわれは彼らが彼女をどこに隠したかずっと知っており、このような幸運を願っていた」と、情報源は語った。

ファウチの妻であるクリスティン・グレイディは、メリーランド州ボルチモアのアイビー・ホテルに偽名で滞在していた。 民間車両に乗った特殊部隊は、ファウチの車をホテル近くの地下駐車場まで目立たないように尾行し行動を開始した。
彼らは彼を囲み、武器を抜き、ファウチの護衛に銃を窓から投げ捨てるように命じた。
「ファウチの警護たちはこれに応じ、特殊部隊はファウチを車から引きずり降ろし、取り押さえ、処理のために運び出した」

収録済みの多数のビデオの中で、”預言者”ファウチは未来のカレンダーを前にして預言を垂れる。 ②

ちなみにこの逮捕劇は、ブルームバーグ・テレビが収録済みのファウチのインタビューを放映した直後に
行われた。 このインタビューの中でファウチはCOVID菌の復活を予測し、司会のデビッド・ウェスティンに対して、
米国ではマスクの義務化や国民にもっと頻繁に追加接種を受けるよう促すプログラムを再び導入しなければならない可能性が高いと述べた。

我々の情報源は、JAGがファウチの予言を証明する証拠を持っていると冗談めかして言った。
「ファウチには、未来を見通す不思議な力があるようだ。 彼は、1年後、3年後、5年後に起こることを予見する、
COVIDに関するビデオを文字通り何千本も事前に録画しているんだ。
あるビデオでは、彼は電子時計とカレンダーの前で机に座り、日付は2023年8月4日となっていて、ファウチは
国を席巻した新しいCOVIDの亜種について延々と話し、新しい自宅待機の義務に従うよう市民に要請している。
その内容は軍事裁判で明らかにされるだろう。**彼に対する罪状は天文学的なものになる**」と情報源はいう。

軍の逮捕状によると、それらの罪状は国家反逆罪、集団医療過誤、扇動的共同謀議、犯罪的殺人などである。

ロバート F ケネディJr.著『アンソニー ファウチの正体』民主主義と公衆衛生に対する戦争！

2022-02-18　 みんなで学ぼう会のブログ

https://ameblo.jp/minnade-manabou2021/entry-12727469046.html

みんなで学ぼう会の高橋広樹です。
アメリカのコロナ対策の先頭に立つアンソニー・ファウチ（アメリカ国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) 所長）の正体を明らかにした本が、アメリカでベストセラーになっています。

アンソニー・ファウチ　1984年から37年間も、
アメリカ国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) 所長

著者は暗殺されたジョン F ケネディ大統領の
甥のロバート F ケネディJr.氏です。

ご存じの通りケネディ大統領は、CIA、軍産複合体、ディープステートを敵に回しパレード中に暗殺されました。
弟のロバート F ケネディも大統領候補指名選挙のキャンペーン中に公衆の面前で暗殺されました。
その子供のロバート F ケネディJr.氏は、反ワクチン運動の先頭を走っています。
そのタイトルは『アンソニー・ファウチの正体～ビル・ゲイツ、大手製薬会社、そして民主主義と公衆衛生に対する世界的な戦争』です。
アンソニー・ファウチは、トランプ政権が始まった2017年1月20日の数日前に、ジョージタウン大学の
スピーチで『驚くような感染症の集団発生が、トランプ大統領の時代に起こるだろう。』と
予言しています。
『歴史的に見てもこのアウトブレイクは避けられないことで、感染症は私たちが
受け続けるであろう永遠のチャレンジなのだが、今、確かに言えることは、
それがこの数年の間に起こるということだ。』と確信をもって言っています。
予言ではなく、計画だったのです。

③

まだ、日本語訳は出ていませんが、機械翻訳によると目次は
第1章 パンデミックの管理ミス
I: 恣意的な命令 科学的根拠のない医療　II: ヒドロキシクロロキンを殺す　III: イベルメクチン
IV: レムデシビル　V: 最終的な解決策: ワクチンか破綻か？
第2章 公衆衛生よりも製薬会社の利益　第3章 HIVパンデミックという製薬会社の利益追求のテンプレート
第4章 パンデミックのテンプレート。AIDSとAZT　第5章：HIVの異端児たち
第6章：HIV異端児を燃やす　第7章:ファウチ博士とハイド氏：NIAIDの野蛮で違法な子供の実験
第8章：ホワイト・ミスチーフ。ファウチ博士のアフリカでの残虐行為　第9章：白人の重荷
第10章 善よりも害が多い　第11章 インチキ伝染病の誇大宣伝："狼を叫ぶ"　第12章：細菌ゲーム

コロナ以前にエイズも仕掛けていたようです。
以下に動画で紹介されています。
消されなければいいですが。

PCR法を発明したキャリー・マリス博士は
新型コロナのパンデミックの直前に
亡くなりましたが、生前にファウチの嘘を
見破っていました。

近現代史家　林千勝氏が以下の動画で、
ファウチが武漢ウイルス研究所と連携していた
ことを暴露しています。

形を変えた戦争が進行中です。 負けずに真実を発信していきましょう！

アンソニー・ファウチ
出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

アンソニー・スティーヴン・ファウチ（1940年12月24日 - ）は、アメリカ合衆国の医師、免疫学者。
1984年からアメリカ国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) 所長[1][2][3]。
アメリカ合衆国の政権6代に渡って大統領に感染症関係の助言をし[3]、大統領エイズ救済緊急計画（英語版）の策定において中心的役割を果たした[3]。
2020年1月からは、アメリカ合衆国における新型コロナウイルス・パンデミックに対処するホワイトハウス・コロナウイルス・タスクフォースの主要メンバーの一人として活躍している。
アメリカ国立衛生研究所 (NIH) の医師として、50年以上にわたり様々な立場から公衆衛生に貢献してきた。
科学者として、また NIH の NIAID の責任者として、HIV/AIDS研究やその他免疫不全の研究に貢献し、
ロベルト・コッホ賞金メダル（2013年）[4]や、ガードナー国際保健賞（2016年）[5]等を受賞。
ニューヨーク・タイムズ紙はファウチを「感染症に関する米国の第一人者」と呼んだ[6]。

2020年11月3日の大統領選挙の不正行為

J-anon's blog　衰退する日本と世界の闇を考察します
トランプ、ゴッドファーザー伝説 Ⅲ！！アメリカ大統領選でディープステートと中国共産党による
大規模クーデター発生！！ついにケネディ兄弟暗殺事件以来の人類の敵が再び姿を現した！
そして、待ち構えていたトランプ陣営のリアル・インディペンデンス・デイ計画は成就するのか！？

https://j-anon.hatenablog.com/

現在アメリカの大統領選はDSの傀儡である大統領候補、バイデン陣営のあまりにも露骨すぎた不正選挙工作により、第二のアメリカ独立戦争の様相を呈している。

11/3、ここで語る必要もなくペンシルバニア、ウィスコンシン、ミシガン、ジョージア、ネバダ、アリゾナなど6つの州でバイデンを勝利させるための大量の郵便投票による不正票が投じられ、おまけにこれらの州はベネズエラのチャベス大統領を勝利させるためにCIAによって開発された遠隔操作可能、トランプに投じられた票を一定のパーセンテージでバイデン票に変換できる機能や、設定されたパーセンテージでバイデンの票を水増しできるの得票数を得たことにしてディープステートの傀儡ジョー・バイデンを大統領候補に押し上げた事実が証明されている。
これはCIAが開発したスコアカード、ハンマーと呼ばれるアプリを仕込んで他国の選挙を操作し、大統領選挙を通した事実上のクーデターを実行し、ディープステートの傀儡を国家指導者に据え置くために開発された軍事作戦用のツールである。

ところが、このドミニオン不正選挙マシーンは当の米大統領選挙において全米22州で導入され、事実上合法的な8000万票以上の得票数を得たドナルド・トランプを引きずり下ろすために使用され、ディープステートの傀儡バイデンをイカサマによって大統領候補にすり替えるための工作ツールとして米国内で使用された。

さらに米民主党だけでなく、ジョージアのような共和党が地盤とする州も含め、全米22州の知事や選挙管理責任者は大統領選挙で、このエラー率60％以上であることが実証されたドミニオンの投票カウントマシーンを導入していたこともわかった。

そしてこのドミニオン社は中国から400億の資金提供を受け、その執行役員7人の内3人が中国共産党の息のかかった中国人であることも暴露されている。
また、不正が取り沙汰されてから社員一同が事務所を封鎖して全員が逃げ出したカナダ、トロントにあったドミニオン社のオフィスはDSの中核を成すグローバルユダヤ金融財閥の手先、ジョージ・ソロスの所有する企業と同じビルに同居しており、両者が密接に連携していたことも暴かれている。

11/3、ディープステートとそれと連合を組んだ中国共産党は、このドミニオン不正選挙マシーンを使い、トランプの票を25％（推定）バイデン票に変換すること、またバイデン票を機械に投入された時点で3％の設定で水増しする設定で選挙に挑んだが、トランプが事実上8000万票の得票数を獲得してしまい、バイデン票はその半分も獲得できなかったという。

となると、ドミニオン不正選挙マシーンに設定されたトランプからバイデンへ投票を変換し、バイデン票を水増しする設定値では到底トランプに勝てないことがわかった。
そこでディープステート、中国共産党連合は11/3深夜、ペンシルベニアなどの激戦州で一旦集計を止め、共和党選挙管理人が帰った後で、あらかじめ準備していた期限切れ、署名無し、州外の選挙人からの二重投票、不法移民、死者による投票すら盛り込んだ大量の郵政投票による不正票を上記の6州の投入し、正にイカサマによって僅差でトランプの得票率を追い抜くことに成功したのだ。

⑤

これらの大統領選挙で様々な形で大規模に行われたイカサマ行為は動画にも収められており、
大統領補佐官が政府の公文書として提出したナバロ・レポートや大紀元などの真のメディアや張陽氏、
及川幸久氏、篠原常一郎氏、我那覇真子さんなど勇気ある個人ジャーナリスト、ユーチューバーの方々の動画を通じた真実の報道によって明らかにされているため、これら米国における不正選挙の詳細をこれ以上事細かに記すつもりはない。（ユーチューブはこれらの動画のほとんどを削除してゆきました。）

ただ、**これがジョージ・ソロスや背後にいるグローバルユダヤ財閥、いわゆる国際金融資本家と彼らが作り上げた巨大な秘密結社によるトランプ政権転覆のクーデターであることをはっきり明言しているのは日本国内では馬淵大使や川添恵子さんだけだ。**
だが、これまでディープステートなんて単に陰謀論で存在しないと言っていた方までがその存在を実在する勢力として認め出したことは大きい。
逆に地に落ちたのは未だにこれらの事実を認めず、アメリカ転覆のクーデターに加わっている日米のメディアであって、もうこれらは全く国民に信頼されていないどころか逆に両国民の敵であることまでバレてしまっている。

現在、軍の弁護士となっているシドニー・パウエル女史やリン・ウッド弁護士ははっきりと2020年のアメリカ大統領選には中国共産党の介入があったこと、アメリカの議員たちが片っ端からハニートラップにかかっていてディープステート勢力の配下にいること、ビル・バー元司法長官までがドミニオン社の買収にかかわりキックバックを得ていたことを公表しており、米議会も司法も機能していないことを公言している。
（ビル・バー元司法長官はホワイト米軍が隠密に行なっている軍事法廷で、2021年に絞首刑になっています。）

しかし、トランプ弁護団筆頭のジュリアーニ弁護士や、パウエル女史、リン・ウッド弁護士さえ、中国共産党の大統領選への介入、すなわち米政府転覆に明らかに介入していることは伝えていても、その背後にいるアメリカの本当の敵については言及していない。
今の所は、だ。

ただ、リン・ウッド氏はそれをほのめかすようなキーワードをトランプ指示の大群衆を前にした演説の中で述べている。　**「これは1776年以来のアメリカ独立戦争だ！」**と。
彼らも本当の敵は誰なのかは知っているのだ。

これについて馬淵大使は林原チャンネルの中で、素晴らしい分析をしている。
大使は「**これはクーデターです。アメリカで起きているクーデターなんですよ？皆さん。ケネディ暗殺事件、南北戦争、それから国際金融資本がアメリカ乗っ取りのために作った民間中央銀行を排除したアンドリュー・ジャクソンの暗殺未遂の頃から同じ勢力によって繰り返し行われてきたアメリカ政府の転覆工作なんです。今矢面に立っているのは中国共産党ですが、果たして中国一国でこれほど大規模な転覆工作が行えますか？**」

そう、その通り！実はこんなことはトランプ陣営もリン・ウッド弁護士もパウエル女史もわかっている。
同じく林原チャンネルに馬淵大使と川添恵子さんがディープステートについて歴代ネオコン大統領や米民主党、中国共産党の他にジョージ・ソロスの名を挙げた時、珍しくチャンネルのディレクターのような方が「他に誰がいますか？ディープステートの著名人は」と聞いた。

すると馬淵大使は一瞬戸惑ったようにしながらも、毅然として答えた。
「デビット・ロックフェラー、ブレジンスキーなどですね」。
するとそこで、すかさず川添恵子さんが合いの手を入れた。
「ロックフェラーの後継者、子供たちもそうでしょう」

要は、ロックフェラー財団、そして、この財団の運営するアメリカの影の政府、CFR（外交問題評議会）の首領とその周辺に蠢くユダヤロビーのことを言っているのだ。

⑥

馬淵大使もチャンネルを運営するうえで今生きて活動しているグローバルユダヤ財閥とその手先の名は言えなかったのだろうが、はっきりとヒントは残している。

例えば今回、アメリカの国防委員会から追放されたヘンリー・キッシンジャーは、ただデビット・ロックフェラーの忠実な腰巾着だっただけの男で、有能な人間でも何でもない、と300人委員会の元インサイダー、ジョン・コールマン博士は言っている。

「ただの主人の命令に忠実なだけの、特段優れた才能も何もないユダヤ人。ただそれだけで、デビット・ロックフェラーの代理人として世界の外交の表舞台に立つことを許されただけの男」。これがコールマン博士のキッシンジャー評である。

つまり馬淵大使の暗示した**ディープステートの本丸はロックフェラー財団やFRBを所有するロスチャイルド家、その徒弟だったモルガンら国際金融資本ら、アシュケナージ・ユダヤ人の指導層グループだ** と言っているのだ。

以下略

私も　ホームページに
『アメリカ大統領選挙の情報戦　その１　１２月９日』
『アメリカ大統領選挙の情報戦　その２　　１月５日』
『アメリカ大統領選挙の情報戦　その３　　１月１１日』
以上の３つの項目を作成していますが、選挙不正を暴く個所の動画は全て削除されています。

２０２１年には、選挙不正を暴く数多くの試みが、トランプ陣営によってなされてきましたが、州知事や州議員や州裁判所やメディアの激しい妨害にあってきました。
ツイッター、フェイスブック、ユーチューブも削除で妨害しました。

しかし、２０２２年３月以降は、選挙不正を暴くトランプ陣営の試みへの妨害は弱まってきています。
トランプ大統領が決起した時、選挙不正を暴くことへの妨害をした者は、国家反逆罪で逮捕されるので、妨害者は、その危険性を認識しているのかもしれません。
しかし、選挙不正をした者が逮捕されれることは避けられないでしょう。
メディア、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブの妨害は続いていますが、トランプ陣営が暴いている内容は、妨害の無いSNSで確認することができるようです。（有料のものも有り）

バイデンは核のコードを持っていない

軍事 :「バイデンは核発射コードを持っていない」
2月 28, 2022　By Michael Baxter -2022年2月28日（Real Raw Newsより翻訳）

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/02/blog-post_15.html

米国大統領を自称するジョセフ・R・バイデンは、わが国の戦略核兵器を起動するのに必要なコードを持たないので、原子爆弾による終末を引き起こすことはできないと、軍の高官筋がReal Raw Newsに述べた。

⑦

過去にも情報筋はそのようなメッセージを伝えていたが、RRNは、気が狂ったバイデン政権には、
我が国を計画的な核大虐殺に突入させる権限も能力もないことを再確認したかったのである。

「三元戦略核戦力*は安全だ。政権の誰も持っていない」と、海兵隊のデビッド・H・バーガー将軍のオフィスに
座っている我々の情報筋は言った。
「トランプ大統領は反乱法に署名したとき、米軍に政府の暫定的な支配権を与えた。
この法律を取り消すことができるのは、国内で2人、バーガー将軍か、トランプ大統領自身だけだ」と付け加えた。

「はっきり言っておくが、誰かが米国に発射すれば、我々は報復する。
しかし、その決定は、憲法を守ることを誓った生涯愛国的な兵士たちの手に委ねられているのだ。
バイデンは核ミサイルの発射コードを持っていない。
彼は発射することはできない」と続けた。

以下略

ニコニコ動画　アゾフ大隊

マリウポリ住民の証言：脱出者たちの生の声

https://www.nicovideo.jp/watch/sm40263611

これはジェノサイドです。　全面的なジェノサイドです。
彼らは狂人です。 殺人狂です。　「狂った人殺し集団」です。
他の言い方がみつかりません。
Q：砲撃をしてきたのはどこでしたか？
アゾフの戦闘員でした。 市内で「内輪もめ」が起きたんです。
ウクライナ軍は退却していたんですが、アゾフがそれを阻止しようと
したんです。　仲間割れして、打ち合っていました。

彼らはマリウポリ市民を、同じ
ウクライナ国民と見ていないんです。
もう、言葉を失います。
市民を「人間の盾」に使うんです。
さあ、出て行っていいぞ、というんです。
そうしておいて、後ろから狙い撃ちする
んです。 人間のすることじゃないです。

ウクライナ軍の戦車が、
コムソモルスキー通りを
走っていましたが
走りながら、アパートの
建物を次々砲撃して
いました。

アゾフは民間人を解放しようとしなかった。
彼らはバスに向かって銃撃していた。
車内には子供たちが乗っていたんで、
大人たちが叫んで抗議しました。
何ていうことをするんだ！　子供が乗っている
んだぞ！　とね。
すると、アゾフの連中は「戦争に子供も年寄り
もありゃしないいんだ！」 といったんです。

⑧

『ウクライナのアゾフ連隊と生物兵器研究所』でもアゾフ連隊の残虐行為を取り上げましたが、
上記の証言は、氷山の一角で、おびただしいアゾフ連隊の残虐行為があったのでしょう。
『ウクライナ軍の戦車がアパートの建物を次々と砲撃していた』という証言からは、破壊された民間の
アパートなどの建物は、全て、『ロシア軍が市民や民間の建物を砲撃した』 というフェイク報道の
ために、アゾフ連隊がウクライナ全域で行っているのでしょう。

ロシア軍が市民を銃撃した、民間の建物を破壊した、というウクライナ側の訴えを、真実として、
国連、欧州諸国、アメリカ、日本は、様々なロシアに対する制裁やウクライナへの軍事援助をして
いますし、NHKに解説者として登場する、軍事専門家、ロシア通の知識人も、同様に、『アゾフ連隊』には
いっさい触れずに、一方的にロシアを非難する人たちばかりです。

このように、フェイク報道を真実であるように伝え、全世界のほとんどの大衆を意のままにコントロール
する術を、ディープステートは永年に渡って続けてきたのです。

暗殺、脅迫、メディア操作、SNS操作が、ディープステートの常套手段です。
議会、司法、裁判所、大学、教育、ハリウッド、デズニーランド、ローマカトリック、なども
ディープステートに染まっています。

アメリカ大統領選挙も、コロナワクチンも、医療分野も、農作物分野も、現在の貨幣制度も、 同様に、
ディープステートの卑劣で巧妙な計画で進められてきたのです。

ディープステートを排除し、本当に人々の健康と平和のためになることを実現しようとしているのが
プーチン大統領であり、トランプ大統領であり、ホワイト米軍であり、アースアライアンス同盟軍なのです。

プーチン大統領が、先陣を切ってディープステートと戦っています。
近日中に、トランプ大統領とホワイト米軍とアースアライアンス同盟軍が決起し、ディープステートとの
最終紛争が本格化することでしょう。

具体的なことは分かりませんが、アースアライアンス同盟軍が勝利することは確かなことです。

核爆弾の実際の使用はありません。 核に関しては、銀河連合が必ず阻止すると思います。

追加作成

2022年4月15日　松本安生

GITMOでファウチは妻のクリスティン・グレイディを "HE"と"HIM "と呼んでいた
By Michael Baxter -2022年4月12日（Real Raw Newsより翻訳）

https://realrawnewsj.blogspot.com/2022/04/gitmo-hehim.html

「オバマについて我々が知りたいことを教えてくれ」。
GITMOの米海軍法務官（JAG）捜査官は月曜日、バラク・フセイン・オバマに関する決定的な情報を求めて、
新しく到着したディープ・ステートのアンソニー・ファウチ博士を汗まみれにしたと、
JAG関係者がReal Raw Newsに語った。

⑨

3時間の「インタビュー」で、捜査官はファウチの足をいわば火にくべ、ディープステートの悪役が、2021年11月の軍事委員会の報告書で、オバマ-バラクとマイケルを、疫病の最盛期に国を席巻したマスクとワクチン接種の強制に結びつけることを裏づけるだろうと期待した。
軍部の主張では、オバマはプランデミックから盗まれた選挙、現在の不況まですべて仕組んでおり、ファウチはプランデミックに関わる問題で彼の右腕であったという。

緊張しているように見えたが、寡黙なディープステートのファウチ博士はオバマについて一言も語らず、代わりに憲法修正第5条の黙秘権を行使し、弁護士の即時立会いを要求した。

ファウチは、自分には何の権利もなく、1807年の暴動法によって与えられた権限で、米軍が彼の国内資産を押収したと告げられた。
押収された資産には、ファウチがCovid-19ワクチン製薬会社から受け取った数百万ドルのキックバックや、中国の武漢ウイルス研究所に研究助成金という名目で米国の税金を送金することを承認したことによる中国のキックバックが含まれていると言われている。

「あなたの権利は失効します。 私たちは本当にあなたが何も教えてくれる必要はありません。
そうでなければ、あなたはここにいないでしょう。
ただ、あなたの口から聞きたいだけなのです。 Covidの嘘はもう終わりです」とJAGの調査官はファウチに言った。

そのとき、ファウチは目を吊り上げてにやりと笑った、と情報筋は言っている。
「Covidは決して終わることはない。 Covidは繰り返し起こる津波で、現実に起こっているのだ。
おまえたちは狂っている。 バラクは何の関係もない。
誰がこんなことをしたんだ？ ランド･ポールか？ トランプか？」

「 喋っても喋らなくても無意味なんだろうな。 どっちにしろダメなんだから。 奥さんを連れてきて、オバマとの関係について彼女が何を知っているか確認すればいいと思う」と調査員の一人が言った。

ファウチは「彼は関係ない、彼-彼女は何も知らない」と答えた。

捜査官は、性別の問題はファウチやオバマの犯罪とは関係ないとして、この問題を追及しなかった。
しかし、ファウチのコメントは、それが真実であれ、神経質な舌禍であれ、ハリウッドとワシントンのディープステイターに共通する不可解な特徴を例証するものである。
トランスジェンダーの仲間に惹かれるのである。

捜査当局にとってより重要なのは、ファウチのオバマに対する畏敬の念であり、これもディープ･ステートの幹部たちに共通する特徴である。

ある情報筋はこう言っている。「JAGは何度も何度もこれを目にしてきました。 我々が裁きを下した者たちは、オバマを崇拝しています。 彼のために剣を振るうし、彼の名前を口にするだけで、心の中に恐怖が走るようなものです。 新世界秩序を推進するディープ･ステートは、オバマが泥の中から立ち上がるずっと以前から存在していました。 しかし、彼らが彼だけに抱く盲目的で間抜けな愛情は、本物の現象です。
ファウチは暗黒卿を裏切らないだろうから、彼の法廷が4月18日に設定されたのだ。

RRNでは、この法廷が開かれたときに、その様子をお伝えする予定です。